

鯨ヶ丘の
小さな声
マップ

ゴミがひとつも
落ちてないんです。

仕事してて
良かったのは
人の付き合い。
人とのつながり。

鯨ヶ丘に
来た人が
ゆっくりして
くれればいいかな

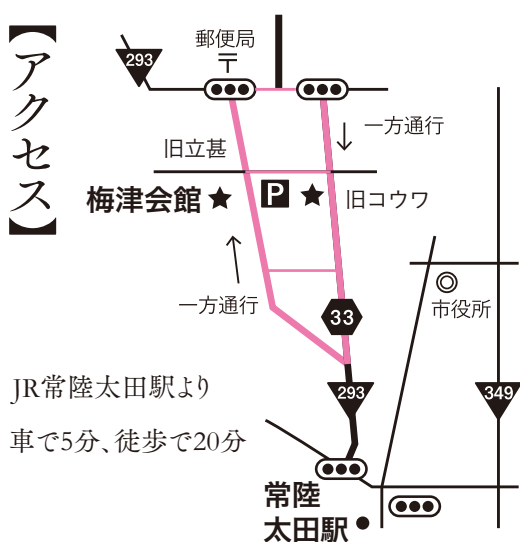
太田小唄って
のがあるの。
東三丁目の人は
歌えるよ。

おいしい
くじら
泳いでます。

十王坂は
「だいこん坂」
とも呼ばれる。

写真を
撮りたくなる
路地がたくさん
あります。

【アクセス】



記念バッジ
引き換え印

記念バッジ引き換え場所：梅津会館、喜久屋、大和田時計本店、プルミエールフジタ

ピックアップされている言葉たちは何番の言葉でしょうか？全て記入した方には記念バッジをプレゼント！（記念バッジは無くなり次第終了となります。）

OFFICIAL MAP



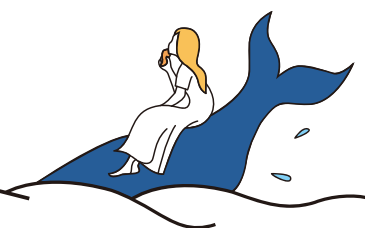
Hara Takafumi

9.30 Sun - 11.25 Sun

鯨ヶ丘の小さな声 / Little voice project

Little Voice History

小さな声の思い出



ひな祭りの時期に合わせ、まちの小灯を参加者の皆さんと一緒に対話しながら制作しました。



鯨ヶ丘の方々以外にも小灯ワークショップに参加いただき、記念品をお渡ししました。



高校生を中心に、鯨ヶ丘の言葉を集めました。彼女たちの言葉もまちの中にたくさんあります。



鯨ヶ丘の住民の方々と、言葉を確認しながら様々な共同作業を行いました。



親子でお手伝いに来てくださったお二人は、プロ並みの手つきで貼り付け作業をしてくださいました。



作品には、言葉だけでなく、たくさんの人々の思いが詰まっています。



まちのサインには歴史、つぶやき、自然のこと、お店のことが書かれています。



東北芸術工科大学グラフィックデザイン学科の学生も山形・茨城にて作業をサポートしました。



元料亭の旧立基は私たちの鯨ヶ丘の実家です。鯨ヶ丘は第2の故郷です。

Designed by Suto Suzuka & Kumagai Haruka Supported by T.U.A.D. Graphic Design Department

鯨ヶ丘の小さな声

アートとデザインで街づくり



鯨ヶ丘の小さな声

KENPOKU ART 2016茨城県北芸術祭で生まれた気運を活かし、地域とアーティストが共に創造し、人と人との関わり、縁(えにし)を表現していくプロジェクトが今年度も進行中!

2016~2017年度に引き続き、アーティストの原高史さんをお招きし、地域の方々から寄せられた特徴的な言葉を選び出し、言葉でまちを飾る標識・看板を新たに制作し、街灯に展示しています。



【アーティスト】 原高史(はら・たかふみ)

東京都生まれ/在住現代美術家、東北芸術工科大学グラフィックデザイン学科教授。主な活動に、国内外で地域の人々とのコミュニケーションを通して得た「ことば」を地域の家々の窓の形に沿って貼るプロジェクト「Signs of Memory」や、言葉と絵を組み合わせた絵画シリーズ「pocketbook」などがある。

サインの分類



原高史チームのイベントも開催予定!

活動状況やスケジュールなど最新情報を発信しています。

常陸太田市アートを活用した地域活性化事業

公式 Facebook ページ <http://www.facebook.com/LittleVoiceProject>

主催：常陸太田市／企画：エヌ・アンド・エー株式会社／協力：鯨ヶ丘商店会、鯨ヶ丘クラブ

Meets KENPOKU

「Meets KENPOKU」は、「KENPOKUに出会える」ことをコンセプトにトーク、ワークショップ、交流会等、参加者との双方向的なコミュニケーションを図る様々なイベントです。